

青少年育成センターだより

第144号 2022.10.1

防府市教育委員会生涯学習課

青少年育成センター

0835-23-3013



「秋の山 静かに雲の 通りけり」

夏目漱石

どっしり構えた山と動く雲、彩のある山と白い雲、山と雲が目の前に見えるようで、雄大な気持ちになれるのではないのでしょうか。コロナ、コロナで少し疲弊した気持ちが、この俳句のおかげで少しゆとりが感じられるようになります。天気の良い日は、外に出て大平山でも眺めてみましょう。

子育てを楽しむ

これまでの「青少年育成センターだより」で、「子どもは、親と一緒にいる時間が必要です」「遊びや様々な体験を子どもと一緒にしましょう」「しっかり向き合い、子どもの話を聞いてやりましょう」など、子どもの成長のために子どもと関わっていくことの大切さを伝えてきました。

「仕事が大変で・・・」「日々の生活が大変で余裕がなく、なかなか、・・・」などと言われる方も多いのではないのでしょうか。今の厳しい社会の中で、ゆとりのない生活をしておられる方も多いでしょうが、子どもと一緒に遊ぶことで、仕事のことを忘れることができ、ストレス発散もできます。一挙両得なのです。短い時間でいいので、時間を見つけて、子どもと一緒に遊びませんか。屋内でも屋外でも、お父さん、お母さんが子ども時代にやっていた遊びでもいいですし、子どもの遊びを教してもらいながら遊ぶことも楽しいものです。

屋内でできるものは「トランプ」「かるた」「UNO」などのカードゲーム、「将棋」や「囲碁（五目並べでも）」「オセロ」などのボードゲーム、家族で楽しめるゲーム機など、いろいろあります。家の中にあるもの、何でもいいのです。これらは、楽しい上に子どもの考える力を養うことにもつながりますよ。

屋外では、キャッチボールをしたり、ボール蹴りをしたり、バドミントンなどをして、身体を一緒に動かし汗を流しましょう。運動をすることで気持ちよくなりますし、子どもの運動能力の向上にもつながります。

遊ぶことで、考える力や運動能力の向上以外にも、子どもの成長に必要な集中力や自発性、協調性、創造性等が身につくのだとも言われています。

屋内で遊ぶことも、屋外で遊ぶことも、お金なんか必要ありません。そこに子どもの笑顔、お父さんやお母さんの笑顔があふれています。

子どもの笑顔を見ることで嬉しくなり、その上仕事のことも忘れることができます。そして、子どもにとって親と一緒に遊んだという思い出は一生忘れませんし、自分は愛されているのだという自信にもつながります。親にとっても、子どもの新しい発見に繋がり、親子の愛着関係がますます深くなることでしょう。

文責＝青少年育成センター指導員 藤村